

香川ニュース

第8号

発行所 自治会
香川自 治 会
広 報 委 員 会

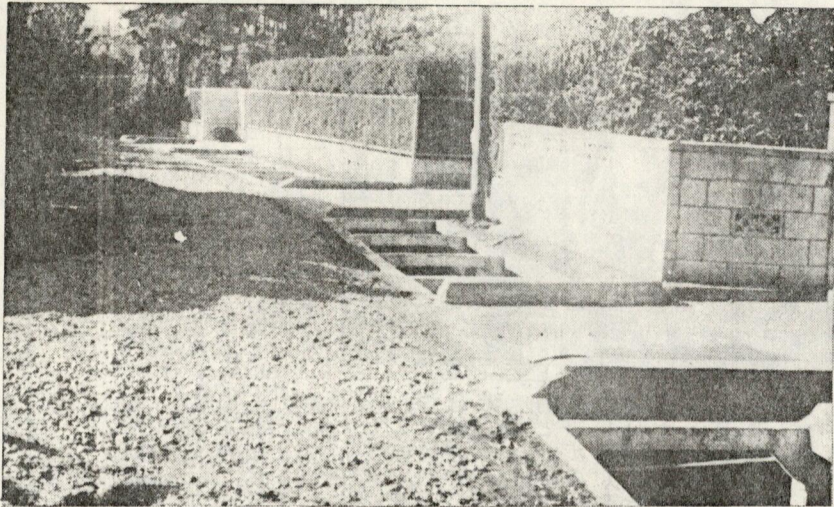
環境整備着々と進む

中通りの水路が完成

市街化地区はもとより他地区に比べても諸般の環境施設が遅れている香川地区では、平素から市当局に対し各施設の整備促進を強く訴えてきたが、本年度にはいつから道路舗装、排水施設、防犯灯写真は改修された中通り水路

増置などの面で、着々と環境改善が進んでいる。長い間附近の住民を悩ませてきた中通り地内の水路も、われわれの努力が実って、かねてから進められていた改修工事が最近ようやく写真のように立派に完成し面目を一新した。川岸の松の木も切れ、雑草もかられて清潔な水路となり、衛生上、美観上からいって、またいへんよい環境となった。

まだまだ問題は多いのでこれからも環境整備の促進を図ってより住みよい街づくりのため全住民の団結と協力をひとえにお願いしたい。



市の十二月追加補正予算で香川地区に関する次の二施設の実施が決まり、近く工事契約の入札が行われる。

一、道路の簡易舗装
金子薬局前より北へ約二一〇米（幅員一、八米）

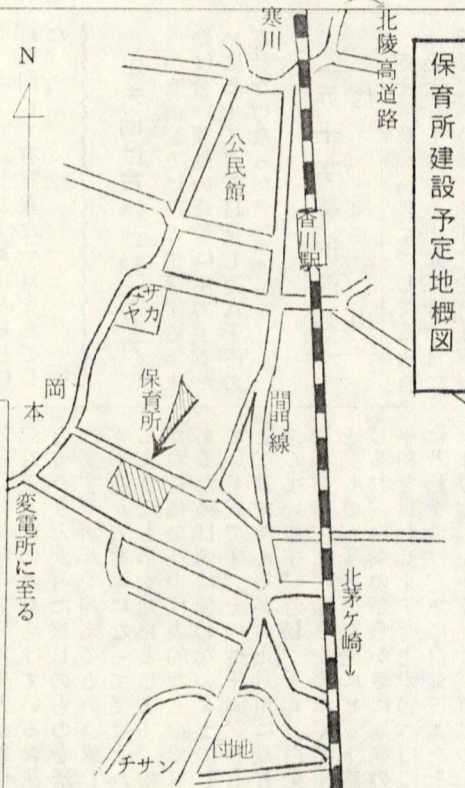
二、香川小学校外柵工事

二施設の 実施が 決定

市立保育所の 設置場所きまる

香川自治会が本年初頭から精力的に運動をつづけてきた市立保育所の誘致問題は、既報のごとく敷地選定の時点で二転、三転して遅れていたが、このほど最終的に別掲の場所に設置されることが決まり、県の事業認定が得られ次第、正式に用地の買収手続が進められることになる模様である。一方市ではこれに伴って既に明年度予算編成の中で、これの建設に要する諸経費が計上されているので、この問題は、ここで本決りとなったわけである。

今後市における予算審議が順調に進めば、明年中に建物その他の施設を完備の上、四十七年早々に開所の運びとなるものと思われる。



保育所設置についての住民の年の念願も、実際に住民運動としての陳情活動をおこしたのには、本年二月頃からである。以来いろいろと曲折をみつつも比較的短期間の福祉施設を香川地区に誘致することができたのは、地区住民の熱望を背景として地元関係者の熱心な努力と一方、市並びに議会当局がこれに関して深い理解を示され、そしてまたこのことは、全住民組織である自治会活動の今後、正しい住民の要望であれば、やればできる、との強い自信をもたらしたものと云えよう。

これからの地域の発展と前進のために、自治会活動に対する住民各位の一層の理解と協力をお願いしたい。

青少年問題懇談会

おとなたちの眼の届かないところで、ほんの一部の高校生、中学生のあいだに有為な若ものを輩出してしまいうまいわい遊びが流行して、毎年その数が急増しています。

それは何だろう。どこにでも売られて、警察に補導されている青少年のことです。

香川青少年育成協議会では、十

9月～12月分自治会費入金報告

当月分及び本年度分累計額は下記の通りです。各位のご協力に対して厚くお礼申し上げます。なお、次期分（本年度残り）は1月末日までをお願いします。

地区名	当期分(円)			累計額	121現在 会員数
	一般世帯	前納分	法人分		
原	73700		600	74300	249
南	66150	400	600	67150	222
間門	55200	300		55500	185
中通	91400			91400	313
東	81800	3700	600	86100	265
北・篠谷	36600		1200	37800	127
計	404850	4400	3000	412250	1,361

二月六日午後一時から、公民館に杉山防犯課長、教育委員会の内藤青少年課長らを講師に依頼して、熱心な育成協及び子供会の役員たち二十余名が参集、この問題について懇談会を開きました。

最初に二十五分ほど映画を上映したのち、杉山課長、内藤課長らから、豊富な実務体験から得られた、シンナーポンド禍の実例などが披露されました。

その話によると、昨年の補導数は九十四件（内女生徒五）ことしは十一月までに、一四五件（内女生徒十四人）と、昨年比で五割近くも激増し、またその分布図も、ほとんど全市の中、高校に及んでいるという実情がもたらされた。みんな真剣な面もちで聞き入っていた。

歳時記抄

☆旅寝よし宿は師走の夕月夜
芭蕉

☆正月の花桶にある師走かな
芭蕉

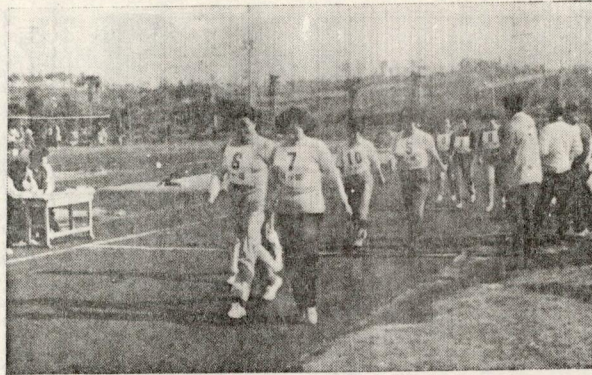
☆能を見て故人に逢ひし師走かな
虚子

☆乳のみ子に世を渡したる師走哉
尚白

☆澄み渡る師走の月や藪の上
水竹居

昭和四十五年度の 体力テストを実施

この香川では昨年地区体育振興会が結成されその組織を通じて各種の行事を推進して来た。この年もあって、住民の間に個々の体力づくりに対する関心が近年にな



く高まっているようである。去月二十二日に香川小学校で行われた体育振興会主催の「成人体力テスト」には、日常健康管理に関心をもつ人達、男女約四十数人中には五十五才以上の人も数人参加して真剣にテストを受けた。

この実施に当っては地元の体育指導員のほか近接地区からも指導員の応援のもとに懇切な指導にあたった。

テストの種目は、(一)握力、(二)垂直とび、(三)反復横とび、(四)四百五十米急歩の四種で、最終の急歩では水けをしぼる。

干瓢は塩水でもみ水で柔らかく戻す。⑤巻きすの上に白菜をおき中央に蓬蓮草をのせし、結び目の間を切る。干瓢で結び、結び目の間を切る。⑥ねぎは斜切り春菊をきり切り、ねぎは軸をとる。⑦大皿に材料を色どりによく盛る。⑧大根に菜ばしで穴をあけ、赤唐辛子をさし、おろし金で生かす。⑨みそを百を①のだしで5カップと酒でとき残り途中に補う。⑩なべに⑨の汁をいれ、これにコンロにか

料理 寒夜のみそなべ

(材料) 4人前

- 豚肉薄切り四百g
- いかの足2匹
- 分 蛤小 ちくわ小 2
- 信田巻
- き小 4
- がんもどき小 4
- 焼豆腐
- 一丁 大根5cm
- 人参1/2本
- 里芋小 8
- 白菜4枚
- 蓬蓮草2株
- 干瓢少量
- 生椎茸小 8
- ねぎ2本
- 春菊少量
- 昆布20cm
- 赤みそ百50
- 酒大匙 3
- だし適宣
- 薬味(大根適宣)
- 赤唐辛子3本
- 生が少量

(作り方)

①8カップの水に昆布を二十分つけてから火にかけ沸騰直前に火を止めて昆布をひきあげる。②いかはさつとゆでて二本づつ切りわけはちくわ、信田巻、がんもどきは熱湯をかけて油をぬき焼豆腐と共に食べやすく切る。③大根人参は5mm厚さの短冊に切り、里芋を皮をむき固ゆでにする。④白菜をしんなりする迄湯がき蓬蓮草をゆで

随想

人思いささまさま

話しはちよつと古いが思い出される方もあると思う。三カ月前のある朝刊紙の随筆欄に、「デパートに現われた、マネキン人形なる記事がのっていた。

要約すると、某デパートが、女子店員の不足対策として、その代りに等身大のマネキン人形を置き始めた。これはよく路傍に立ててある、お巡りさんの場合と同様に、「おとなのウソ」を感じてたいへん不愉快だという論旨のようだった。過日われわれ年寄りの合会のある夜、偶然にもこの話が酒の肴になったのである。A君いわく、「おれは人形賛成もともと人間の身辺を守ってやろ」という善意から、出ているんだ

年末助け合い運動に協力

当自治会では市の提唱する年末助け合い運動の趣旨に協力するため去る十二月五日金七万八千円の寄託を行なった。

赤十字募金運動に出

赤十字募金運動に対して香川自治会としては去る十月二十六日に金拾貳万六千六百十円を赤十字社茅ヶ崎支部に拠出した。

市老人相談員に熊沢氏

老後の生活に関する各種の相談指導と助言を行うなど老人福祉の増進を図るため、神奈川県が設置した老人相談員制度によって、この程茅ヶ崎市にも四名の配置が決まり、香川一四四番地、熊沢賢三氏がこのたび市老人相談員として知事から委嘱された。

正月のいけばな

お正月はいつも活けているお花とガラリと変わった感じのものを活けます。新年を迎えるという感じがよくなるように、お花の理想とします。松がお祝儀の花の代表的なものであるため、日頃は使われないようにしている。葉たん等がお正月用に最も適しています。若松、千両、白菊の花材に添えて新春を寿ほく希望と楽しさが千両の葉先にピット感

を思われ、白菊の清らかな家庭の平和を思われ、更に白菊三本をそれより少し短かく活け、真紅の千両を緑と白の間にあしらひ引立てさせて活きあげます。上図の点線は白菊三本の位置です。

する、人々のさまざまの受けとりかたは、これほどまちまちである。世間には、善悪の区別が、相手方に必ずしもそのようにとられなかつたことを経験された人も案外多いと思う。人の考え方が、いや、立場が変わった場合の見方の相違が、そうさせるのであろう。また、世間ではよく自分なりの固まった考え方だけで、強く自己主張に走った議論の進め方をすることも意外と多い。信念が強いことはいけり、その正否の判断が要注である。諺に「自分で正し」といふ。他人の意見を聞け」と。言論自由の原則で一方通行のみが多い現代には、心すべき名言として私は常に自分を戒めている。

訃報

中通一八の一組 大谷 忠氏の 尊父 大谷 新造氏 (六十九才) は十二月二日逝去された。 中通五組 高橋 昭光氏の母堂 高橋米子様(六十二才)は、十一月二十九日東京の入院先で逝去された。 謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

寄付

香川一四四番地 高橋昭光氏より、故母堂米子様追善供養のため、左記の通りご寄付いただきました。 ご厚志に対しお礼申しあげます 記 金五千円也 自治会へ 金参千円也 香川消防団へ

茅花会

十二月投句集

葉を蹴って百舌のたけりのけた 湘南
 近道に通る凍て田となりけり 百合子
 行く年や息かけて押す認め印 成美
 行く年やちり紙交換音終る 夢峰
 名残惜しき友を送りて秋暮るる 茶の
 茶の花も活けし母校の文化祭 一葉
 霜柱音なく倒る陽の恵み 喜枝
 行く年や来る年までの交差点 喜枝
 立冬や白菜樽の水揚かな 喜枝
 冬陽さすセルスマンの広き背 喜枝
 暮色這う煙一筋落葉たく 喜枝
 画用紙に木の実並べて児の笑顔 喜枝
 残葉の掃路霜の道背を丸め 喜枝
 白菜に茶もよきものと老いし友 喜枝
 ごぶさたの友思う日や年送る 喜枝
 霜柱唯ふみ折りし神の庭 喜枝
 壁伝う思う夜となり霜の声 喜枝
 白菜の鍋が楽しく我を待つ 喜枝
 満月荒涼として霜に立つ 喜枝
 祖先ありて十六代の暮の萩 喜枝
 古里の紅葉の便り文に寄せ 喜枝
 老い犬の日向恋しき寒の入り 喜枝
 吹かれては淋しさに伏す野菊哉 喜枝
 木菟の夜に星古いを読み居たり 喜枝
 白鷺の向き同じうす田の小春 喜枝
 初霜やきらきら光る分譲地 喜枝
 木々の葉の霜に眠れる夜明かな 喜枝
 セーターの丈を直して冬支度 喜枝
 鶏頭のあくまで紅き旧家かな 喜枝
 花いばら晩秋の野に陽を集め 喜枝
 遠来の友また鶏頭の紅き日に 喜枝
 たしかむる帰省の切符寒灯下 喜枝
 点滴の日々行く年のなき仲間 喜枝

カネボウ、レブロン、マックスファクター、ヘレナルピンスタイン

おしゃれの店 **三カ三**

茅ヶ崎店 茅ヶ崎駅北口 丸岡ビル一階(82)2431

横浜店 横浜駅ビル二階・本店 横浜西口ダイヤモンド地下街